

安倍首相、辞任を表明

ポイント① 9月中旬に新首相就任へ

8月28日、安倍首相は持病の潰瘍性大腸炎が再発したことから、辞任する意向を表明しました。自民党は後継の党総裁の選出方式や日程を二階幹事長に一任して9月1日に決めるとしています。

9月中旬までに自民党総裁が選出され、新たな首相に就任する運びです。新総裁が決まり次第、現在の内閣は総辞職することになります。

ポイント② 株安、円高に動いた金融市場

長期政権が終わることで、株式市場では先行き不透明感が高まり、28日には日経平均株価は終値で前日比326円(-1.4%)下落しました。

為替市場では、アベノミクスの終了によって日銀の金融緩和の姿勢も弱まるのではないかという憶測が生じ、28日米国時間夕方には1米ドル = 105円30銭台と、前日より1円20銭ほど円高に動きました。

ポイント③ 当面、政策に変化はない見込み

今後、市場では誰が次期首相となり、どのような政策を打ち出すかに注目が集まるでしょう。ただ、新型コロナウイルスの感染拡大で景気が大幅に悪化した中、景気回復のために金融・財政政策を総動員させる必要は、首相が交代しても変わりはありません。

安倍首相の自民党総裁任期を次期首相が引き継ぐため、来年9月には新総裁の任期満了を迎え、来年10月には衆議院は任期満了となります。今年11月の米大統領選は、日本の外交方針を大きく左右する可能性があります。事態が流動的な中、新首相は新たな政策を早急に打ち出すことはせず、安倍政権の方針を引き継ぎつつ、内外の政治経済情勢の変化に逐次対応することになるものと考えられます。

図1：日経平均株価と円/米ドル為替レート

期間：2020年1月6日～2020年8月28日、日次



(出所) Bloombergデータを基に野村アセットマネジメント作成

図2：日本の鉱工業生産指数

期間：2005年1月～2020年7月、月次



(出所) Bloombergデータを基に野村アセットマネジメント作成

重要
イベント

9月17日 日本金融政策発表
9月30日 日本鉱工業生産指数、小売売上高(8月)

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。